

津地域修成地区 地震防災マップ

01-16



防災行政機関

名称	電話
津市役所	229-3104
津市消防署	213-0110
中消防署中署	226-2980
中消防署西分署	225-7431
中消防署南分署	234-3512
中消防署東分署	232-3092

救急告示医療機関

名称	電話
津市立総合医療センター	232-3001
岩崎病院	232-2216
聖心病院	228-1111
三重大学三重大学附属病院	232-1111
高松病院	226-1111
大宮病院	226-5525
医療法人 永井病院	228-5181
津山病院	227-6171
津山病院	225-2848
若菜病院	227-0207
久慈病院	227-0207

避難所一覧(地震災害・風水害)

名称	電話
修成小学校	228-7131
橋南中学校	227-5781
若菜小学校	228-6148

一時避難場所一覧(地震災害)

名称	電話
三重県立津工業高等学校グラウンド	226-1285
セントヨゼフ女子学園グラウンド	227-6465
ぼだい心保育園グラウンド	228-7473
高松スポーツ公園	—
津球場公園	225-3171
古道公園	—
佐伯町公園	—
岩田公園	—
津南公園	—
三重大学三重大学附属高等学校グラウンド	226-6217
若菜公園	—
橋南神社	228-4806
若菜八幡宮	228-3242

ライフライン関係機関

名称	電話
中部電力(株)津営業所	226-5559
東邦ガス(株)津営業所	228-7161
西日本電信電話(株)三重支店	116
津市水道局	237-5811

この地図は、既存の図面としては最新の平成12年作成の津都市計画基本図を基に作成されたもので、平成12年以降に建てられた建物については変更されておりませんので御注意ください。

【凡例】

- 津波浸水深(0.5m以上)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 緊急輸送道路
- 防災行政機関
- 救急告示医療機関
- 避難所
- 一時避難場所(地震災害)
- ライフライン関係機関

【震度の説明】

震度階級	人間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物
6強	立っていることができない	固定していない家具が移動し、倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6弱	立っていることが困難になる	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5強	非常な恐怖を感じる。歩行に支障を感じる。	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
5弱	多くの人が身の安全を回らざるを得ない。歩行に支障を感じる。	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	固定していない家具の多くが倒壊、落下する。積りかたが異なる家具のほとんどが倒壊する。	耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

【液状化の説明】

液状化危険ランク	予想される状況
極めて高い	液状化の危険度は極めて高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は、建物から階高と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路陥没したり、液状化が発生する箇所も多くなります。
高い	液状化の危険度が高い。メッシュ内で液状化が発生する面積は、建物から階高と予想されます。砂や泥水が噴き出し、建物や橋が傾いたり、道路陥没したり、液状化が発生する箇所も多くなります。

【急傾斜地の説明】

急傾斜地でけがれが発生すると、急傾斜地の上部ではけがれの高さに相当する範囲で土砂が崩落する。急傾斜地の下部ではけがれの高さの2倍に相当する距離まで土砂が崩落することが一般的です。角度が30度以上、高さ5m以上の区域は、法律により「急傾斜地崩壊危険箇所」に指定されています。

【津波の被害】

- 津市の海岸に津波が到達する時間(地震発生時から)
 - 第一波(約20cm)・・・約50分後
 - 最大波(約1.6m)・・・約時間20分後
 - (津波は一回限りなく、数度にわたって襲ってきます。)
- 津波による主な被害
 - 津波の上まで波がくると人は立っていらなくなります。
 - 木造建物では、1m未満の高さでは部分的な被害程度ですが、1mを超えると全面的な破壊となる場合が出てきます。
 - 鉄筋コンクリートビルでは、2～3mの高さまで打ちこたえられますが、4mを超えると破壊するビルが出てきます。

津波は、海岸や海道の地形(V字状の高、岬の先端、湾内など)によっては局部的に大きくなる場合がありますので、注意が必要です。

津波から身を守ろう

海岸沿いで地震を感じたら、すぐに安全な場所に避難することが鉄則です。

